

# 塩尻市都市計画マスタープラン

## 全体構想の概要

塩尻市では令和 6 年度中の公表を目指して「塩尻市都市計画マスタープラン」の見直しを進めています

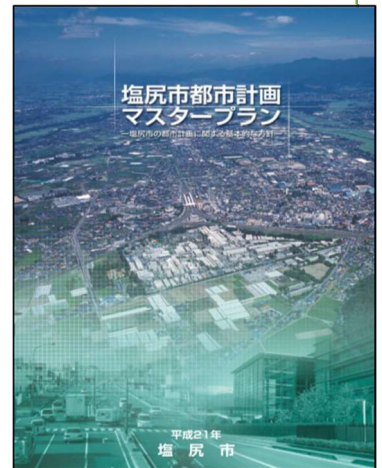
## 1 「都市計画」と「都市計画マスタープラン」とは

### ● 「都市計画」とは

➔土地の使い方のルール、道路や公園等の配置、計画的な市街地整備事業を定めるものです

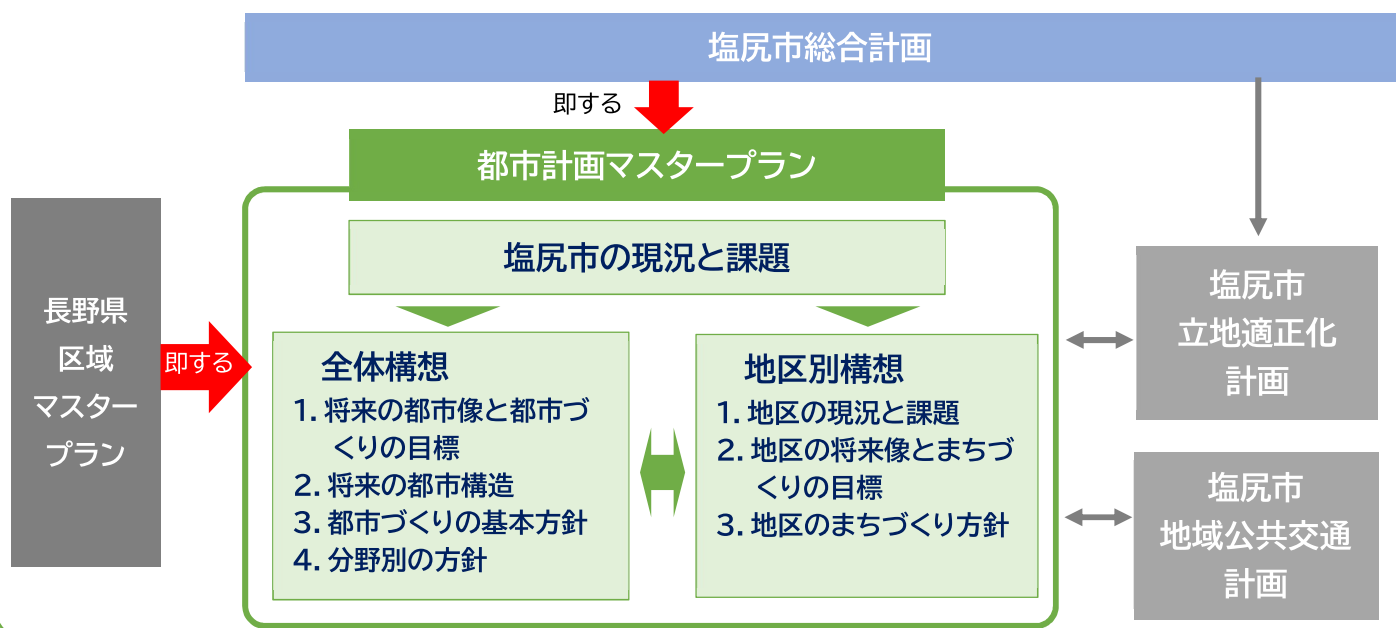
### ● 「都市計画マスタープラン」とは

- ➔市町村が、市民の意見を反映して、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的方向性をわかりやすく示すもの
- ➔おおむね 20 年後の都市の姿を展望し、個別の施策内容は おおむね 10 年後を目標として定めます



## 2 「都市計画マスタープラン」の構成

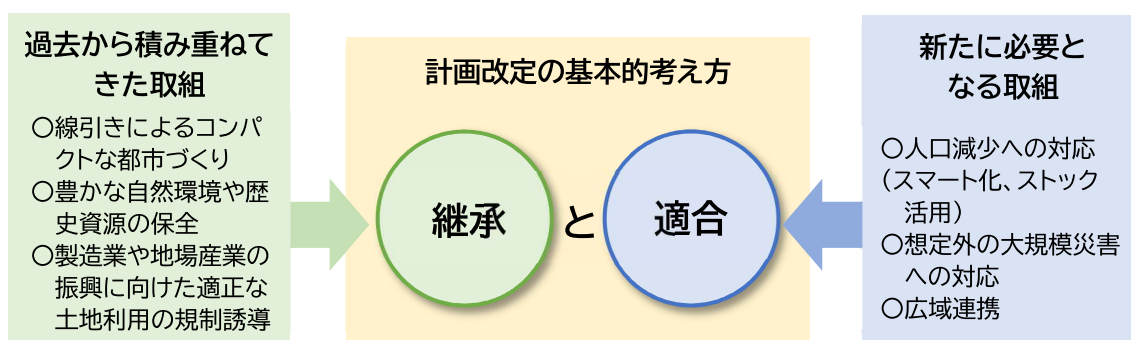
- 都市全体を対象とする「**全体構想**」、市内 10 地区毎に定める「**地区別構想**」によって構成され、塩尻市総合計画等に即して、市の都市計画の基本方針を定めます



### 3

#### 今回の改定の視点

- 過去から積み上げてきた取り組みを**継承**しつつ、新たな時代に求められる都市像へと**適合**させることを基本に計画を改定します



### 4

#### タウンミーティングで確認したい事項

- 今回のタウンミーティングでは、地域の特性を踏まえたまちづくりの目標や方針を定める「地区別構想」の策定にあたって、地域の皆さんの声を広く聴くものです
- 地区別構想では、最終的には地区が有する強み・弱みを整理した上で地区の抱える課題を抽出し、その課題を踏まえた地区の目標やまちづくりの方針を定めたいと考えています
- 数値的な事実等から、市で地区毎の強み・弱み、地区の目標等を暫定的に設定しますので、そこに対して皆さんが感じていることを述べていただき、案を練磨したいと考えています

# 北小野地区

## 地区別構想の骨子

### 1

#### 地区の歴史と成り立ち



- ▶平安時代には東山道が通り、当時の朝廷の牧場である小野牧が成立
- ▶信濃国二之宮と言われる小野神社はこの地方における大社として広大な社地を形成、辰野町小野の矢彦神社とともに小野南北大明神と呼ばれる
- ▶北小野地区は、中世末期まで辰野町小野地区と1郷1村を形成していたが、1591年に分割されて北側の筑摩郡小野村(その後の北小野村)が松本領、南側の伊那郡小野村が飯田領となる
- ▶明治以降、隣村である伊那郡小野村との合併を進めたが、どちらの郡に所属するか決着がつかず、塩尻市発足の動きが具体化したため、昭和34年4月に塩尻市に合併して現在の北小野地区が誕生
- ▶平成11年にチロルの森が開園、令和2年には新型コロナウイルスの影響で閉園した
- ▶平成27年に蔵造川の水路橋(めがね橋)が公益社団法人土木学会の「選奨土木遺産」に認定
- ▶塩尻市への移住定住を促すため平成30年から「お試し住宅」が実施された

### 2

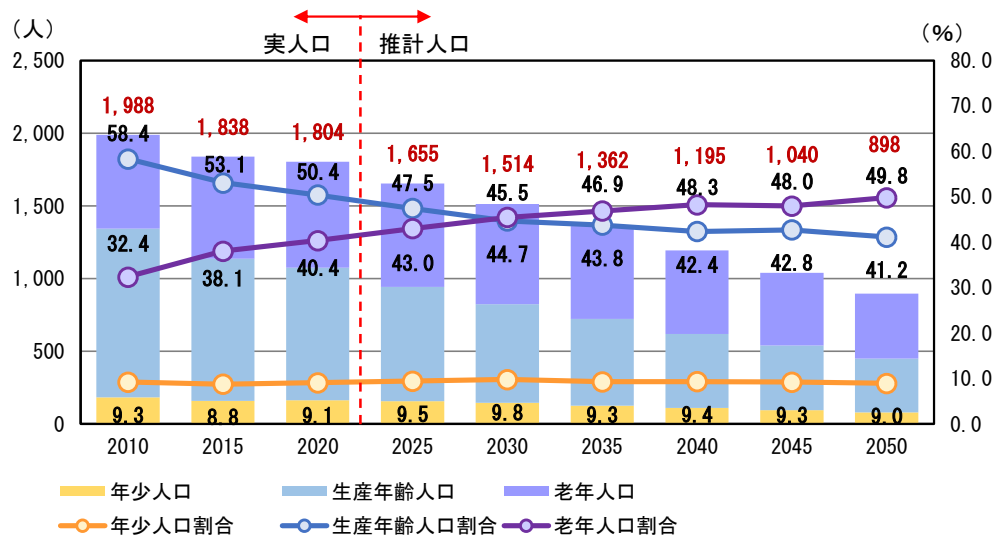
#### 地区の概要



- 地区面積約 1,691ha
- 地区内全域が都市計画区域外

- 地区人口は 1,804 人(R2 年)、過去 10 年間で-184 人の減少
- 高齢化率(65 歳以上人口割合)は市平均を上回る約 40.4%

#### ●人口の推移



# 北小野地区

## 地区別構想の骨子

### 3

### 地区の課題とまちづくりの目標



#### 地区の強み



支所周辺でコンパクトにまとまって形成された一部集落地

長い歴史を持つ神社や祭り、別荘、ゴルフ場等のリゾート資源の分布

霧訪山からの伏流水がみられる自然豊かな集落環境

お試し住宅の貸し出し等、移住者を受け入れる環境

#### 地区の弱み



急速な人口減少と高齢化の進展

他地区との連絡を国道153号に依存、また国道153号は通過交通が多く歩行者や自転車が危険

遊休農地、荒廃農地の増加

集落内に分布する土砂災害のハザードエリア

「強み」を生かす

「弱み」を克服する

#### 地区の課題

移住者等との連携を強化しつつ、地区内人口の維持・増加を図ることが必要

国道153号の機能強化と併せてその他の幹線道路の通行円滑化が必要

チロルの森跡地の利活用をはじめ低未利用地の有効活用が必要

#### まちづくりの目標

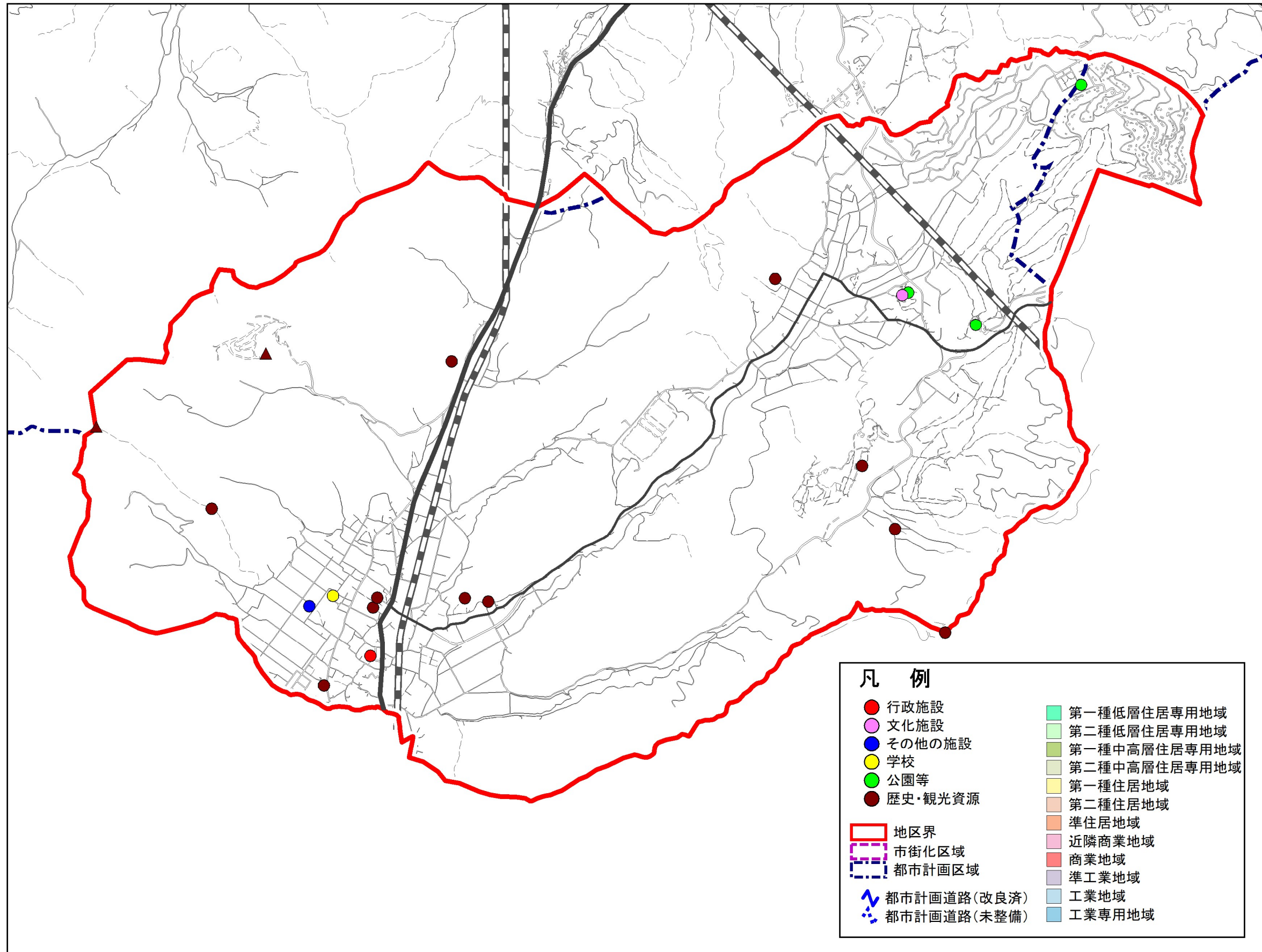
多様な主体との交流から地区の活力が生まれるまちづくりを進める

辰野町との連携強化により安全で利便性の高いまちづくりを進める

自然・歴史・文化と調和した落ち着いたまちづくりを進める



●地区の主な施設・資源の分布





●地区の災害ハザード

